

取扱説明書

ダクティル製フランジ形スイング逆止弁

DC-407S



株式会社 宮入バルブ製作所
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

目次

	ページ
1. 概要	 2
2. 製品名	 2
3. サイズ	 2
4. 仕様範囲	 2
5. 構造と特長	 3
6. 運搬及び保管	 3
7. 配管要領	 3
8. 使用上の注意	 4
9. 点検及び保守	 4
10. 分解・組立要領	 5
11. 交換部品	 6
12. アフターサービスについて	 6
13. 構造図	 7

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。
本取扱説明書を良くお読みになり、内容を理解された上で本機器をご使用くださいますようお願い致します。
また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧め致します。

1. 概 要

逆止弁は、液化石油ガスおよび一般高圧ガス設備の配管系の逆流を防止するバルブです。

2. 製品名

品名		ダクタイル製フランジ形スイング逆止弁
型式		DC-407S
図面番号		B-46938-14

3. サイズ

25A、40A、50A、80A、100A
(注)呼びはフランジサイズです。

4. 使用範囲

取付け前に、必ず次の仕様を確認の上ご使用下さい。

(1) 使用流体		LPG(液、ガス)
(2) 設計圧力		2.35MPa
(3) 設計温度		-5～120℃
(4) 耐圧試験圧力		3.9MPa
(5) 気密試験圧力		2.35MPa
(6) 接続仕様		JIS20K RF
(7) 本体材料		FCD-S

注意

これは標準仕様です。使用範囲が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様及び製品の
検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上でご使用ください。

5. 構造と特長

- (1) このバルブは、アームに取付けられた弁体が、ヒンジピンを軸にスイングして開閉の機能を果たす構造になっております。
- (2) 弁体は、アームに対して一定の範囲内で動きがフリーになっていますので、弁座に確実に着座し、わずかな背圧で逆流を防止することが出来ます。

6. 運搬および保管

- (1) バルブを落とす、倒す、投げる、引きずる等の乱暴な取り扱いで、強い衝撃を与えないでください。漏れ、故障の原因となります。
- (2) 運搬及び保管は、荷姿のままで、ゴミ、ほこり、雨等がかからないようにしてください。
- (3) バルブフランジのパッキン座面には、フランジガードが貼ってありますが、砂、ゴミ等が入り漏れ及び故障の原因となりますので、取付け直前まで取り外さないでください。また、配管取付けの際は必ず取り外してください。

7. 配管要領

- (1) 取付けの際は、配管内およびフランジ面の切粉、溶接スパッタ、スケール等を充分清掃してください。
- (2) 逆止弁には流れ方向がありますので、ボディの表示によって方向を確かめて配管してください。
- (3) 取付け姿勢は、垂直配管の場合は流れ方向が下から上、水平配管の場合はフタ側を上に向けてください。
- (4) バルブを配管する際には、フランジのパッキン座面に貼ってあるフランジガードを必ず取り外してください。
- (5) バルブフランジと配管フランジの間に、流体に適合したシーリング剤を塗布したガスケット、をずれのないように正しい位置に挟み込んで、取付けてください。
- (6) フランジボルトは、対角線上のものから交互に均等な力で締め付け、片締のないように注意してください。
- (7) バルブは自重および操作時の力によって、配管または取付け部に無理な荷重がかからないように、バルブまたは配管を支持してください。
- (8) バルブは、配管の膨張、収縮、地盤沈下、地震などによって無理な力を受えないように取付けてください。

8. 使用上の注意

逆止弁には流れ方向がありますので、ボディの表示により方向を確かめて、間違いの無いように取付けてください。

9. 点検および保守

設備の運転開始時、運転終了時、および運転中に以下のような点検を行ってください。

- (1) フタ接続部からの漏れは無いか。漏れがあった場合は、分解組立要領にしたがってガスケットを交換してください。
- (2) プラグねじ部からの漏れは無いか。漏れがあった場合は分解し、ねじ部の検査を行ってください。

その他、高圧ガス保安法の適用を受ける場合は、法規上の規定に基き検査を実施してください。

10. 分解・組立要領(構造図を参照してください)

10.1 分解要領

- (1) 残ガスの置換を行ない、内圧がゼロであることを確認して、配管よりバルブを外してください。
- (2) ⑮ナットを緩めて、⑭フタを外し、⑬ガasketを外してください。このとき、フタおよびボディのシール面に傷を付けないように注意してください。サイズが 25Aのものは、フタがねじ込み式になっておりますので、これを緩めて外してください。
- (3) ⑪プラグを外して、⑪ヒンジピンを抜き取ってください。
- (4) バルブ内部から、アーム、弁体の組品を取り出します。
- (5) ⑨割りピンを抜き取り、⑧ナットを緩めて②弁体を⑥アームから外します。
- (6) ⑤を緩めて、④ワッシャー、③シートパッキンを分解します。

10.2 組立要領

- (1) 分解した部品のゴミ、錆などは十分に清掃してください。
- (2) ⑬ガasketおよび③シートパッキンは新品と交換してください。
- (3) ⑬ガasketの表面には、グリースを塗布しないでください。
- (4) ③シートパッキンの表面には、流体に適合するグリースを少量塗布してください。
- (5) ⑪プラグのねじには、流体に適合したシール剤を塗布してください。また、ねじを締め付ける際は、真つすぐ正しくねじ込み、締めすぎに注意してください。
- (6) 組立は、分解と逆の手順で行いますが、弁体をアームに組み込んだとき、弁体とアームの間に約 1.5mmの隙間があることを確認してください。また、組立完了後アームがスムーズに動くことを確認してください。

25Aの⑭フタ(ボンネット)及び 40A以上の⑮ナットの推奨締め付けトルクは下表の通りです。

サイズ	⑭フタ	⑮ナット			
	25A	40A	50A	80A	100A
推奨締め付け トルク N・m	200～220	30～40	70～80	70～80	150～180

11. 交換部品

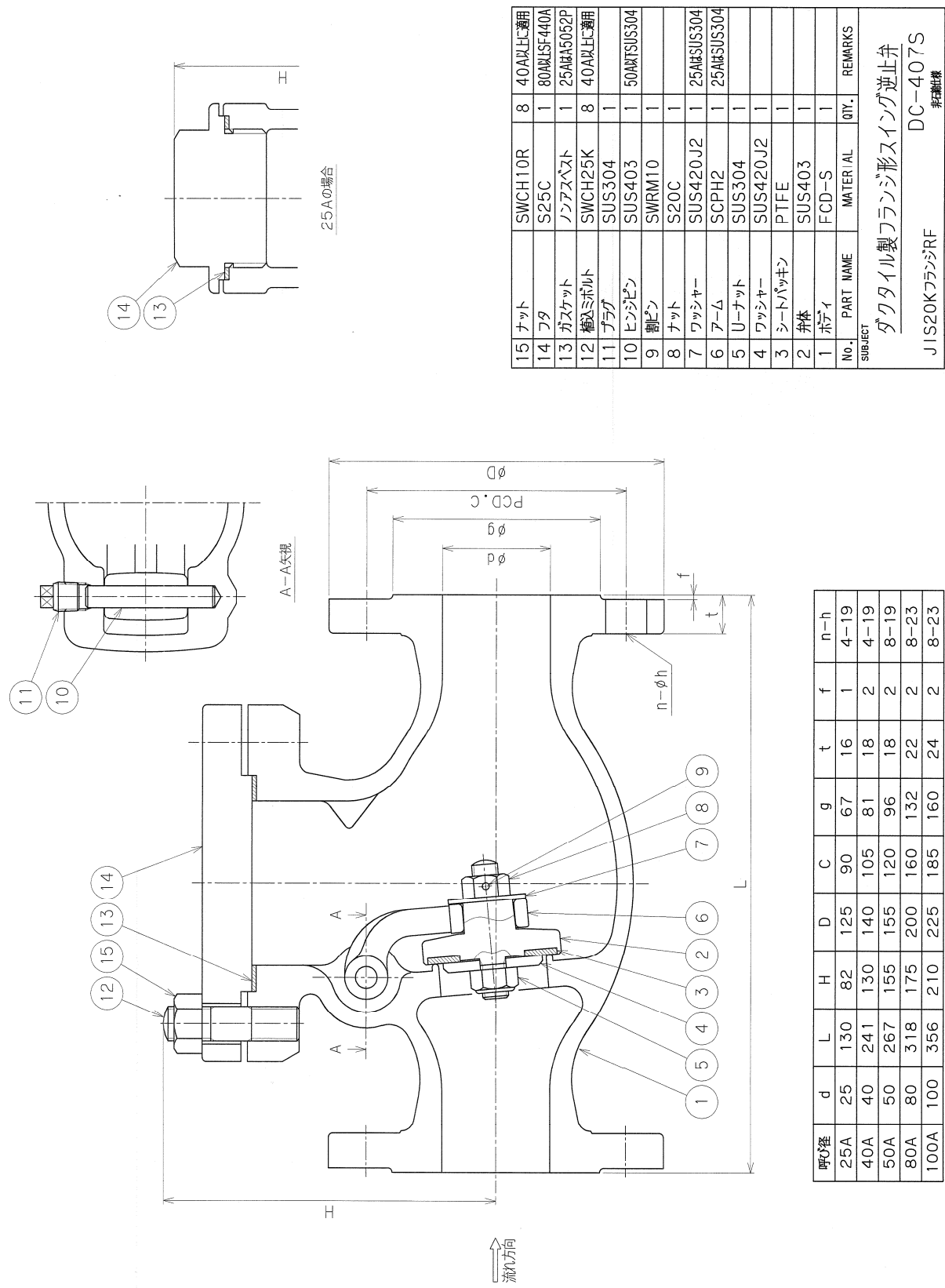
分解検査の際に交換するパッキン部品類は、純正部品を使用してください。
詳細については、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。

12. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。
※型式・サイズ・図面番号等をお知らせください。

13. 構造図



本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(Tel) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲府工場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(Tel) 055-285-0111	(Fax) 055-285-3284
札幌営業所	(Tel) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(Tel) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(Tel) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(Tel) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(Tel) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(Tel) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984